

一の宮巡拝

一の宮巡拝会 発行人 関口行弘

事務局：兵庫県川西市大和東2-13-10 創房関宮(有)内
電話：072-791-5158 FAX：072-791-5159
E-mail：junpai@sekinomiya.com

近畿ブロック交流会盛況に・ 一の宮巡拝会10周年のお知らせ

恒例の近畿ブロック交流会が去る3月20日(金)に開催され盛況に終了いたしました。当日は快晴に恵まれ、淡路国一の宮伊弉諾神宮と阿波国一の宮大麻比古神社を参拝いたしました。伊弉諾神宮では正式参拝の後、本名孝至宮司から国産み神話など御由緒をお聞きいただきましたが本名宮司のユーモア溢れるお話と美しいお社、加えてご本殿には春の陽光が差し込み、あたかも我々も虹色の光に包まれた感じがいたしました。ひと時、神話の世界に遊ぶことが出来ました。大麻比古神社では金倉文雄宮司から御由緒のほか、一の宮巡拝会結成10年と前代表入江孝一郎先生の昔話を拝聴いたしました。ちょうど境内の山桜が満開という好機に参拝でき感激でした。その後、近くにあるドイツ館も見学し、ドイツ人俘虜と地元日本人の人たちの交流の熱き心を感じ、また、日本で最初にベートーベンの第九が演奏された地ということも知りました。帰途はお神酒を参拝者全員でいただきながら、自己紹介やら感想を述べ合い、一日のバス



阿波国一の宮大麻比古神社にて

ツアーでしたが楽しいひと時を過ごしました。

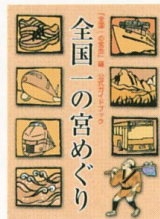
一の宮巡拝会は今年結成10周年を迎えます。前代表の入江孝一郎先生の設立時の思いは今日まで受け継がれて、少しずつではありますが会員も増え発展していると思います。この十年間に巡礼・巡拝の機運がかなり高まってきたと思います。平成19年には大阪の国立民族博物館で『聖地・巡礼』展が開催され、一昨年には関西の2府4県の150社寺を巡る神仏習合の新しい巡礼ルートがスタートしています。最近では社寺に若い女性が参拝している姿をよく見かけるようになりました。

さて、本年の6月20日～21日に行われる全国交流会と結成10周年を祝う「尾張一の宮シンポジウム」のテーマは『神さまって何?—もっと身近に神さまを—』であります。経済一辺倒の現代社会にあって、100年後の日本を考慮に入れた我々庶民の生き方を考えていきたいと願っています。是非皆様方のご参加をお待ちいたします。

一の宮巡拝会事務局

※ご購入希望者は東京事務局まで※

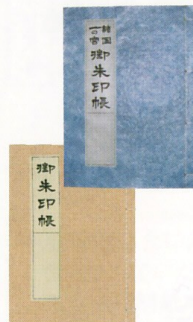
「全国一の宮会」編
公式ガイドブック **全国一の宮めぐり**



一の宮神社のみでの頒布で一般の書店では購入出来ません。諸国の宮神社の社頭でお求めください。又は東京事務局へお問合せください。
頒価：1,000円

御朱印帳

四国和紙・楮笹ヶ峰(高知県の和紙を使用)軽く携帯に便利(150g)、墨書きも吸い込みが良く速乾性にも優れ好評です。



(青) / 四国和紙・楮笹ヶ峰 一の宮・神社名・祭神名入り 定価7,000円(送料別)
(白茶) / 四国和紙本文全て 白紙版定価6,000円(送料別)

◎全国一の宮巡拝のすすめ・改訂版(三百円)
◎全国一の宮参拝参考資料・初版(百五十円)

一の宮巡拝会本部事務局 創房関宮(有)内

〒680-0102 兵庫県川西市大和東2-13-10
電話 〇七二-791-5158
FAX 〇七二-791-5159

E-mail: junpai@sekinomiya.com

一の宮巡拝会東京事務局(株)アドワーク内

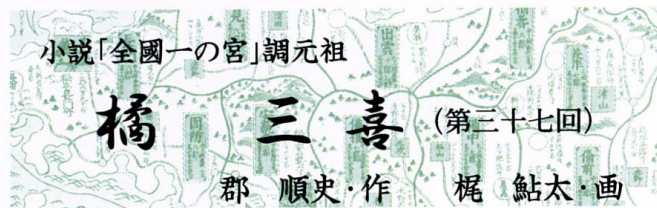
〒110-0055 東京都台東区三筋一十二-11
電話 〇三三-581-3390
FAX 〇三三-581-3395

E-mail: shio369@crocus.ocn.ne.jp

●入会金及び会費について

一般維持会員 年会費 三〇〇〇円
賛助会員 一口 三〇〇〇円(何口でも可)

●寄付金 お志し ※常時受け賜ります。薄謝謹呈
●会費等お振込み先
郵便振替(大阪) 〇〇九九-〇一五八二五



滝川は在宅していた。

訪うとすぐに書院に通され、國家老に面接する。

そして國家老滝川は、三喜の訪問の内容を耳にすると、

「しからは松村にも同席して貰ったほうが好都合であろう。たしか本日は屋敷におるはずゆえ、使いを出して足労願おう」

と言って、近侍に迎えの使者を出すように命じた。

やがて村松寺社奉行が加わり、壱岐での祭事の儀が話しあわれる。

滝川の意見は、

「すべての采配は橋に任せてあるゆえ、特別の事ある以外は、わしの意見要望はない」

当初定めた案件に変わりはなかった。

だが、村松は別の考えを持っていた。

「殿が祭主として壱岐へおいで下さるのか分明いたさぬ現在、いたずらに神殿を假の俣に致しておくは、第一に神さまに失礼と存じますのと、第二に一の宮とお認め下さった京都方面へも申し訳が相立ちませぬ。ゆえにこの際、本格なご社殿を御建造相なったほうが至当かと存じます。されば殿が不意においで下さっても直ちに祭事がとどこおりなく相いとなめします」

「なるほど、それは確ひかずによい思案。されど本格を建造するとなると、日数もかかろうほどに——」

滝川は首をかしげた。

「ほぼ一年、長くても一年半。これくらいで出来ぬかな」

村松が三喜の顔を見た。

三喜が答えた。

「私は、ほぼ三年、と思考しておりました。されど一年は無理と致しましても、一年半ほどなれば出来うるかかと存じます」

村松は我が意を得たりというように大きく頷いてみせた。

が、滝川國家老は小首をかしげ、「三年の予定が、なぜ半分の一年半で完成するのか？ まるで手妻でも使うようじゃが」

当然の疑問を発した。

「それは、お社を御建造致すのが、壱岐だからでございます」

「なぜ壱岐ゆえ可能なのか」

「はい。壱岐はご存知の如く狭い島の國でございます。されど神代の昔より、他土地に比してはるかに神々がお住いあそばされ、従いまして神社の数も多うございます。神社が多ければ、それを造り修復する大工職方人夫の数もあまっております。それらを藩のお力を持って総動員致しますれば、期日も半減、短縮出来ると存じます」

「なるほど。ではそう致そうか。だがそうすると、費用の方も呑氣呑気にしておられぬな。急がねばならぬ」
「その方はご家老のお仕事でございます」



この松村の言葉で二人は顔を見合わせ大きな笑い声を上げた。

ともあれこの笑い声で、最長一年半を目途に、ただちに建造に着手する事が決定した。

三喜と平之進は、このあと夕食を馳走になり、滝川家を辞した。

外は浅春の宵の月がおぼろで、吹く風もなよやかであつたが、少々肌寒かつた。

二人は壕をまわって楓の馬場へ出た。

ここは夏秋は若い侍たちが宵深くまで馬を責め人語も絶えぬが、いまは閑散として猫一匹の姿も無かつた。

三喜は不意に歩みを停めた。

馬場の脇にある俗に物見の松とよばれている樹の影から、三人の侍が飛び出、こちらへ走ってくる姿を見たからである。

(つづく)

尾張一の宮シンポジウム & 一の宮巡拝会結成10周年

テーマ 『神さまって何? ーもっと身近に神さまをー』

アメリカの金融不安から世界同時不況に見舞われている現在の社会情勢。毎日、暗いニュースがつぎつぎと報道され、我々庶民の生活は苦しい中さらに気持ちも塞ぎがちになります。同じような状況にあった90年代後半、バブル崩壊後では日本は閉塞感に満ちていました。一の宮巡拝会はこのような時期、平成11年4月1日に前代表世話人入江孝一郎先生の尽力によって結成されたのです。この10年間には世界の平和を願った元寇の役の鎮魂祭「壹岐ルネッサンス」などを行い、奈良やアメリカシアトルで一の宮シンポジウム(テーマは自他共生)を開くなどの活動を続けてまいりました。今回は第3回目で結成10周年を記念した全国交流会を開催いたします。

今回は物理学者の池内了先生を迎えて「物理学と神」についてご講演を頂きます。物理学者が神をどのように考え位置づけておられるのか大変興味深いお話をお伺いするチャンスです。

パネルディスカッションでは「神さまって何? ーもっと身近に神さまをー」とのテーマで討論を行っていただきます。会員また一般の方々にとっては分かり易いテーマですから是非ご聴講いただきたいと思います。また、一部絵画展と写真展も合わせて行います。

一の宮巡拝会結成10周年 記念懇親会プログラム

尾張一の宮シンポジウム

6月20日(土) (正午12:00～午後8:30)

集 合：正午12:00
名古屋駅西口(新幹線口)
(各自昼食は済ませて参集してください)

出 発：午後12:30 観光バスにて

コース：午後1:00～午後2:30
熱田神宮 御垣内正式参拝
午後2:30～
田県神社～大県神社 社頭参拝

宿泊地：午後5:30 着
犬山温泉 迎帆楼
愛知県犬山市大字犬山字北古券41-6
TEL 0568-61-2205
午後6:30～午後8:30
10周年記念懇親会

参加費1人 1泊2食付 23,000円

*当日シンポジウムのみ参加の方は無料ですが、必ず聴講券をお申し込みください。

6月21日(日)

集 合：午前9:30 バスにて会場へ
会 場：真清田神社参集殿

第一部 (午後1:00～午後2:30)
講演 ●池内 了先生(総合研究大学院大学教授)
テーマ「物理学と神」

第二部 (午後3:00～午後4:30)
パネルディスカッション

●池内 了先生(総合研究大学院大学教授)
●飯田 清春先生(尾張国一之宮 真清田神社宮司)
●齋籐 盛之先生(一の宮巡拝会顧問)
●ダスティン・キッド先生(英語教師・巡拝会世話人)
司会・進行/関口 行弘(一の宮巡拝会代表世話人)

午後5:00 会場にて解散

*会場の都合により、シンポジウムの参加申込は先着順に受付させていただきます。聴講券を発行いたします。お申込は別紙申込書でご連絡ください。

【結成10周年記念事業実行委員会事務局】

一の宮巡拝会本部事務局 〒666-0111 兵庫県川西市大和東2-13-10 電話：072-791-5158 FAX：072-791-5159

尾張一の宮シンポジウム&一の宮巡拝会結成10周年

「神をまつて何？」

「もっと身近に神をまつて」

経済一辺倒の現代社会、もっと違った生き方があるのでは。
100年後の日本を考えましょう。

尾張一の宮シンポジウム

2009年

6月20日(土) 正午12:00名古屋駅集合

◆バスによる観光・熱田神宮正式参拝・犬山温泉泊(夕方・懇親会)

6月21日(日) 午前9:30～午後5:00

◆講演「物理学と神」池内了先生(総合研究大学院大学教授)

◆パネルディスカッション「神をまつて何? -もっと身近に神をまつて-」
池内了先生/飯田清春先生/齋藤盛之先生/ダスティン・キッド先生
関口行弘(司会・進行)

尾張国一之宮 真清田神社参集殿

〒491-0043 愛知県一宮市真清田1-2-1 JR尾張一宮・名鉄一宮駅より徒歩8分

主催：一の宮巡拝会(結成10周年記念事業実行委員会)

